

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス一歩すてっぷ		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有とチーム支援体制が安定していること	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援開始前・終了後に必ず打合せを行い、役割分担や支援内容、児童の様子を共有している</li> <li>活動日誌・個別記録を複数職員で記入し、定期的に内容の確認・情報共有を行っている</li> <li>常勤・パートを問わず意見交換を行い、支援の質の均一化を図っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>打合せ内容を簡潔に記録・可視化し、参加できなかった職員にも確実に共有できる仕組みづくり</li> <li>ケース検討の時間を意図的に設け、支援の根拠や視点を言語化する取組の強化</li> </ul>
2	児童の特性・発達段階に応じた柔軟な支援プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、特性や年齢、興味関心に応じた支援を実施</li> <li>活動プログラムが固定化しないよう、月ごとに新しい集団ゲーム等を取り入れている</li> <li>平日・長期休暇で活動内容の負荷や構成を変え、生活リズムや体力面に配慮している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動プログラムのねらいや育成したい力を明確にし、支援計画との関連性をより意識する</li> <li>成功事例や児童の変化を職員間で共有し、プログラム改善につなげる仕組みづくり</li> </ul>
3	保護者との信頼関係と丁寧な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳、送迎時の対話、メール等を活用し、日々の様子をその日のうちに伝えている</li> <li>定期的な面談(年2回以上)を実施し、家庭での様子を踏まえた支援計画を作成している</li> <li>保護者会や親子参加型イベントを通じて、相談しやすい関係づくりを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートの回答率向上に向けた実施方法の見直し</li> <li>助言内容や相談対応を整理し、保護者支援の質の向上につなげる</li> </ul>

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一部の取組における職員間の理解・共有の差	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAやガイドライン理解、身体拘束等に関する項目で「どちらともいえない」が見られる</li> <li>研修や会議に参加できなかった職員への共有が十分でない場面がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修内容や重要事項を要点化し、文書や共有ツールで全職員に周知する</li> <li>ミーティング内で短時間でも確認の機会を設け、認識の統一を図る</li> </ul>
2	関係機関・地域との連携にばらつきがあること	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学前施設や地域住民との交流について「どちらともいえない」の回答が多い</li> <li>交流や連携が個別対応にとどまり、計画的な取組になっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性の高い機関との連携を優先順位づけし、無理のない形で関係構築を行う</li> <li>地域行事や外出活動の中で、自然な交流機会を意識的に取り入れる</li> </ul>
3	外部評価・第三者視点の活用が限定的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価の実施について「未実施・予定なし」としており、内部評価が中心となっている</li> <li>第三者の客観的な視点を獲得の機会が限られている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修講師や関係機関からの助言を整理し、簡易的な外部評価として活用する</li> <li>将来的な第三者評価の導入に向け、情報収集や体制検討を進める</li> </ul>